

出前講座「民具でむかしばなし」

2月12日（金）、三原市の学芸員さん2名と、船木在住の文化材保護委員の森井さんにおいて、**「昔の道具と人びとの暮らし」**について学習しました。子どもたちは、持って来ていただいた道具が、学級の児童のおばあちゃんにお話を聞かせていただいたときの数々の道具と同じように、木や鉄で作られ、電気を使わない物であることに気づきました。



箱膳（はこぜん）



箱膳を見せられ、それが何かをたずねられた時、何をやるものかを見事に答えた児童がいました。教室においてある、昔の道具について書かれた本を読んでいたから答えられたそうです。森井さんから「色々な学校に行ったけど、正解したのは初めてですよ。」とほめてもらいました。（すごいね！）



昔の三原市の様子や行事についてもお話していただきました。



道具にふれさせていただいて、昔の人の暮らしを少し感じることができました。



アイロンの歴史… 火のし → こて → 炭のアイロン → 電気アイロン

子どもたちが一番興味をもったのはレコードプレイヤーでした。「三原やっさ」のレコードを聞かせてもらいました。



森井さんが、お話の中で、「電気を使う道具が増え便利になって、家事に費やす時間が減りました。自由にできる時間が増えて豊かになったけれど、電気の使い過ぎなどの問題も出てきました。みんなは、これから大きくなったらどんなふうに暮らしていくか、生きて

いくつか、考えてみてください。」と、子どもたちに大きな宿題を投げかけてくださいました。
ご家庭でも、お子さんと話題にしてみてくださいね。
森井さん、学芸員の秋吉さん、松島さん、ありがとうございました。

「ドリームせせらぎ」訪問

2月17日(水)、介護老人保健施設「ドリームせせらぎ」を訪問しました。1月に行った福祉体験学習を通して、子どもたちは、「おじいちゃん・おばあちゃんにやさしくしたい。」「おじいちゃん・おばあちゃんを助けられる人になりたい。」「喜ばせたい。」という気持ちを持ちました。その思いとつなげて、17人が「おじいちゃん・おばあちゃんを喜んでもらえるように」と内容を考え、準備・練習をして訪問しました。

1. はじめの言葉 → 2. 3年生の出し物 → 3. おじいちゃん・おばあちゃんとの交流(プレゼント渡し&肩もみ・肩たたき) → 4. マジック → 5. 終わりの言葉という流れで会を進めました。



♪友だちになるために♪ (手話をしながら歌いました。)

♪ふるさと♪ (おじいちゃん・おばあちゃんも一緒に歌ってくださいました。)

♪パフ♪ (リコーダー演奏をしました。)

大きな拍手をもらって、子どもたちも「ドキドキしたけど、がんばってよかった。」と、喜んでいました。



気持ちいいよ。上手じゃねえ。ありがとうね。

おじいちゃん・おばあちゃんとの交流…手作りの「花のブローチ」と「お守り」をプレゼント。肩もみ・肩たたきをしながらお話ししました。



*** 子どもたちの声 ***

「握手をした時、なかなか手をはなされなかったよ。」

『ありがとう』って何回も言われたよ。」

「泣いている人もおっちゃって、ぼくも泣きそうになったよ。」



お手製の「マジック」

いつまでもお元気で!

おじいちゃん・おばあちゃんに元気をおくり，おじいちゃん・おばあちゃんから温かさとおしさをいただきました。

船木小学校最後の「せせらぎ訪問」でしたが，素敵な交流ができて本当によかったです。